

I. 設計条件

この課題は、2024年のパリオリンピックを見据え、※ボルタリング練習場を備えたホテルを計画するものである。

※ボルタリングとはフリークライミングやスポーツクライミングの一種で、最低限の道具で高さ5メートル以下程度の人工の壁面などを登る競技である。

1. 敷地及び周辺条件

- 敷地の形状、接道条件、周辺状況等は、下図のとおりである。
- 敷地は平坦で、道路及び隣地との高低差はないものとする。歩道の切り開きは、1箇所当たり6mまでできるものとする。
- 敷地は、近隣商業地域及び防火地域にしてされている。また、建ぺい率の限度は70%、容積率の限度は300%である。
- 支持地盤は平均GL-15m、地下水位は平均GL-10mとなっている。
- 日影及び積雪についての特別な配慮はしなくてよい。

2. 建築物

- 構造、階数等
地上6階建ての建物とし、構造形式は自由とする。
- 床面積の合計
床面積の合計は、4,200m²以下とする。この課題の床面積の算定においては、ピロティ、塔屋、バルコニー、屋外階段は、床面積に算入しないものとする。ただし車寄せを除く屋内的用途(駐車場、駐輪場、お食事デッキ等)に供するピロティについては床面積に算入する。またエレベーターシャフトは容積率には算入しないものとする。

(3) 要求室

下表の室は、すべて計画する。

部門	室名	特記事項	床面積
スポーツ部門	ボルタリングルーム	・無柱空間とし、幅24m、高さ5mのボルダーウォールを設ける。トップライトを設ける。 ・エントランスホールからガラス越しにボルダーウォールが見えるように配慮する。	適宜
	トレーニング室A/B	・ヨガやストレッチにも利用できるトレーニング室を2室設ける。	各80m ²
	会議室	・2室に分割して利用できるよう可動間仕切りを設ける。	約100m ²
	小ホール	・無柱空間とし、天井高さ5m以上とし、多目的に利用する。	約200m ²
	ロッカールーム	・男女別とし、ロッカー、洗面、シャワー等を設ける。	計約50m ²
宿泊部門	宿泊室	・1人室とし、ベッド・バスタイレ洗面・デスクを設ける。 ・約25m ² /室とし、40室設ける。 ・採光、通風等に配慮する。	計約1000m ²
	自販機コーナー	・宿泊室のある各階に適宜設ける。	適宜
	リネン庫	・宿泊室のある各階に適宜設ける。	適宜
共用部門/他	エントランスホール	・上部(階段及び風除室上部除く)は全て吹抜とする。 ・風除室、トップライトを設ける。 ・エントランスホール内に、2階への階段を設ける。	適宜
	レストラン	・お食事デッキに面する。厨房を設ける。 ・テーブル・椅子・カウンター等をレイアウトする。 ・席数の算定根拠は、計画の要点に示すものとする。	適宜
	事務室	・エントランスホールに面してフロントを設ける。 ・3人分の事務スペースを設ける。 ・仮眠コーナーを併設する。	適宜
	設備スペース	・その他、各自が採用した設備計画に応じて、室外機置場等を計画する。	適宜
・上記の室に関連して必要と思われる室等は、適宜計画するものとする。			

3. 屋外施設

- エントランスホールに面して、ピロティもしくは屋根付の「車寄せ」を設ける。自動車用入口及び出口を設け、車路の最低幅員を3.5m以上とする。車寄せ内に乗降部分(5.0x3.5mとする)を設ける。
- 駐車場は平面駐車とし、車いす使用者用として1台分、一般利用者用として1台、管理・サービス用として3台分を設ける。その他は近隣の駐車場を利用する。
- 駐輪場は、平面駐輪とし、25台分以上(2.0mx0.5m)を設ける。
- 公園に面して、レストラン用のお食事デッキ(面積適宜)を設ける。

4. 計画に当たっての留意事項

建築計画、構造計画及び設備計画については、次の点に留意して計画する。

- 建築計画については、次の点に留意して計画する。
 - 建築物はバリアフリー、セキュリティに配慮し、主要な室については、自然採光、通風及び日射遮蔽に配慮した計画とする。
 - 各部門について適切にゾーニングした計画とするとともに、明快な動線計画とし、かつ避難等にも配慮する。また宿泊部門1階のエレベーターには前室を設け、カードセキュリティをかけるものとする。
 - 敷地の周辺環境に配慮すると共に環境負荷低減に配慮する。
- 建築物全体が、構造耐力上、安全であるように計画するとともに経済性にも配慮する。
- 構造種別、架構形式、スパン割及び基礎構造について適切に計画する。
- 空調設備、給排水衛生設備、電気設備等を適切に設け、環境負荷低減に配慮する。
- エレベーターはスポーツ部門用、宿泊部門利用者用及びサービス用をそれぞれ1基ずつ計3基設ける。
- 建築物の外壁の開口部で延焼のおそれのある部分には、所定の防火設備を適切に計画する。また、防火区画(面積区画・堅穴区画)が必要な部分には、所定の防火設備を用いて適切に区画する。なお、本建築物は、自動式のスプリンクラー設備等を設けないものとし、また「避難上の安全の検証」を行わないものとする。
- 避難階又は地上に通ずる2以上の直通階段を適切に計画する。また、必要に応じて、「敷地内の避難上必要な通路」を適切に計画する。

II. 要求図書

答案用紙Ⅰの定められた枠内(寸法線については枠外でもよい。)に、黒鉛筆を用いて記入する。

1. 要求図面(答案用紙Ⅰに記入)

下表により、所定の図面を作成し(フリーハンドでもよい)、必要な事項を記入する。

図面及び縮尺	特記事項
(1)1階平面図兼配置図 1/200	① 1階平面図兼配置図、2階平面図及び基準階平面図に、次のものを図示又は記入する。 イ.建築物の主要寸法(柱割り及び床面積の計算に必要な程度) ロ.室名等 ハ.設備シャフト[パイプシャフト(PS)、ダクトスペース(DS)、電気シャフト(EPS)]の位置 ニ.設備計画に応じた設備スペース(ただし、屋上に設けた場合は断面図に図示する。) ホ.断面図の切断位置 ヘ.要求室の床面積
(2)2階平面図 1/200	② 1階平面図兼配置図には、次のものを図示又は記入する。 イ.建築物の出入口 ロ.駐車場(台数及び出入口を明示する。) ハ.駐輪場(台数を明示する。) ニ.車寄せ、通路、植栽等
(3)3階平面図 1/200	③ 2階平面図及び3階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ.下階の屋根、ひさし等となる部分 ロ.居室の最も遠い位置から2つの直通階段に至る歩行経路、それらの距離、及び重複区間の距離
(3)断面図 1/200	④ 3階平面図には、次のものを図示または記入する。 イ.基準階に相当する部分を-----で囲む。 ① 切断位置は、エントランスホール吹抜けを含み建築物の全体の立体構成がわかる断面とする。なお、基礎部分を除き、水平方向、鉛直方向の省略は行わないものとする。 ② 屋上に設備スペースを設けた場合は図示する。 ③ 建築物の最高の高さ、階高、天井高、1階床高及び主要な室名を記入する。 ④ 基礎、梁及びスラブの断面を図示する。

2. 面積表(答案用紙Ⅰに記入)

- 地上1~6階の床面積及びその合計を記入する。なお、各階の床面積については、その算定式も記入する。また建ぺい率及び計算式についても記入する。

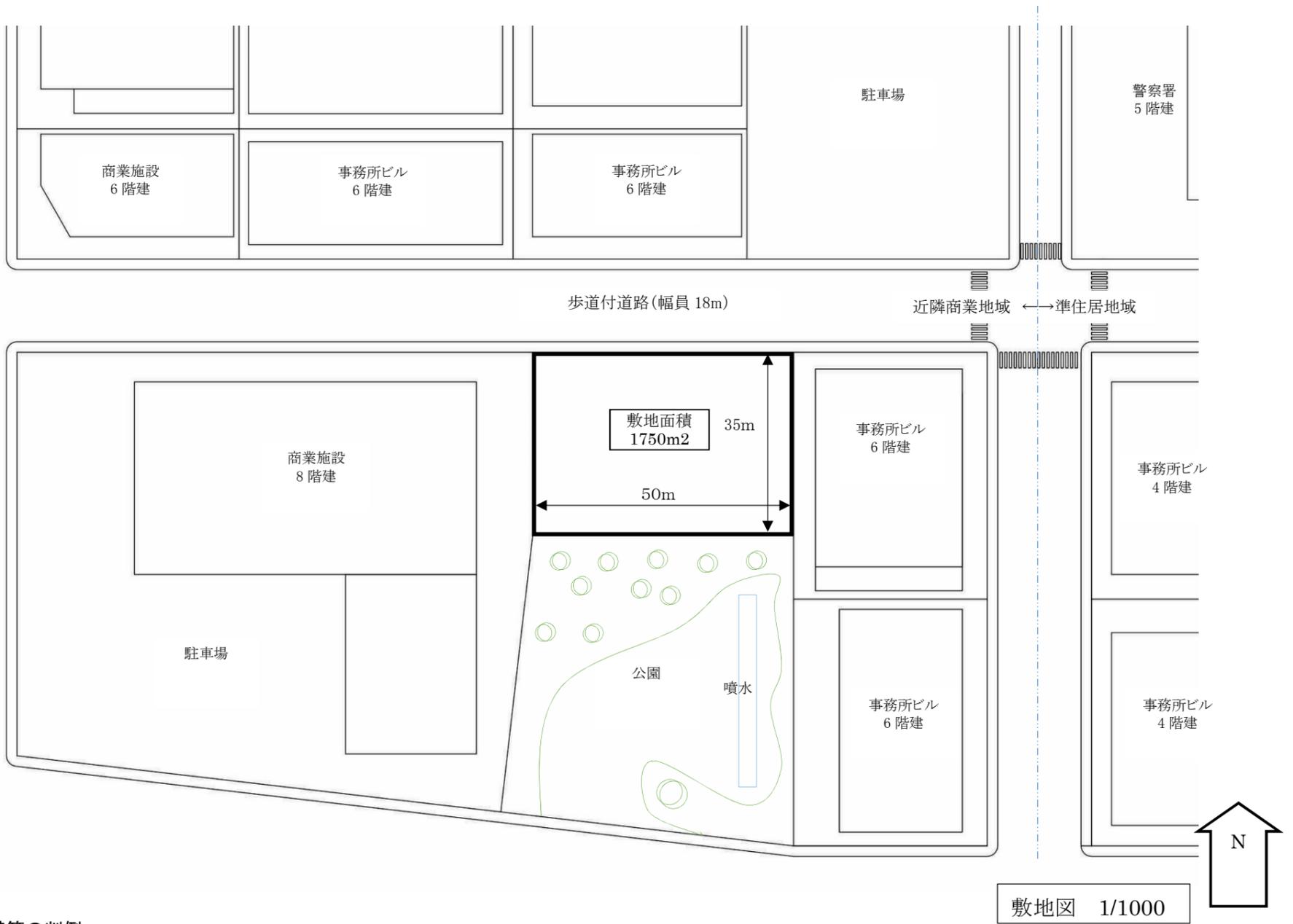
3. 計画の要点等(答案用紙Ⅱに記入)

建築計画、構造計画及び設備計画について、次の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。

- エントランスホールを計画する際に配慮した点
- レストランの席数及び面積についての算定根拠
- バリアフリーについて配慮した点
- 3~6階の宿泊室配置について配慮した点
- 建築物に採用した構造種別、架構形式及びスパン割りとこれらを採用した理由
- 選定した基礎とその理由
- 小ホールの屋根に採用した構造について、部材を説明し、梁伏を図示せよ。
- エントランスホール、小ホール、宿泊室において採用した空調方式
- 採用した給湯方式、熱源、機器配置、及び採用した理由
- 受変電設備において配慮したこと

(裏面に続く)

(裏面より続き)

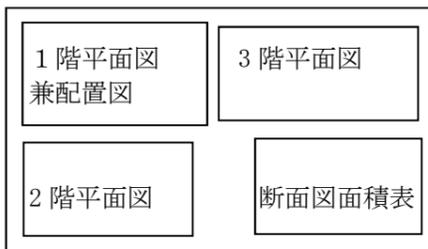


防火設備等の判例

(特、防等の表示は、必要な箇所(外壁の開口部も含む)に全て記入すること)

<p>【建築物の外壁の開口部で延焼のおそれのある部分の位置(延焼ライン)と防火設備】</p>	<p>【防火区画に用いる防火設備の位置及び種類】 防火区画(面積区画・堅穴区画)に応じて、要求される所定の防火設備の位置及び種別を記入すること</p>	
	<p>特定防火設備</p>	<p>建築基準法第2条第九号のニ・ロに規定する防火設備</p>
<p>建築物の外壁の開口部で延焼のおそれのある部分がある場合においては、隣地境界線又は道路中心線から延焼のおそれのある部分までの距離(m)を記入し、延焼ラインを破線で図示すること また、建築物の外壁の開口部で、延焼のおそれのある部分の開口部に要求される所定の防火設備の種別を記入すること</p>	<p style="text-align: center;">(特)</p>	<p style="text-align: center;">(防)</p>

5. 図面レイアウト(製図試験.com 課題指示:本試験では解答用紙Iに記載)



■添削について
 受講生・添削希望者は、図面、要点、エスキース・分析表を同封して下記住所までお送り下さい。(別途費用の場合は1万円(税込)とします)
 〆切は7月8日(月)消印有効。遅れても必ず添削しますが、ペース配分の目標としてください。
 添削は約1週間程度でご返却します。
 〒554-0012 大阪市此花区西九条2-7-8-3F 製図試験.com 事務局
 送付前に図面は必ずコピーを取ったのち、その原本を4つ折りして角2号封筒を使用してください。速達、書留、宅急便にする必要はありません。



建築計画、構造計画及び設備計画について、次の要点等を具体的に記述する。
なお、要求図面では表せない部分についても記述する。

(1)エントランスホールを計画する際に配慮した点

(2)レストランの席数及び面積についての算定根拠

席数:

面積:

(3)バリアフリーについて配慮した点

(4)3-6階の宿泊室配置について配慮した点

(5)建築物に採用した構造種別、架構形式及びスパン割りとこれらを採用した理由

(6)選定した基礎とその理由

基礎:

(7)小ホールの屋根に採用した構造について、部材*を説明し、梁伏を図示せよ。

図示欄

*部材:柱、大梁、小梁、床板等について

(8)エントランスホール、小ホール、宿泊室において採用した空調方式

エントランスホール	方式:
理由:	
小ホール	方式:
理由:	
宿泊室	方式:
理由:	

(9)採用した給湯方式、熱源、機器配置、及び採用した理由

(10)受変電設備において配慮したこと

質問欄

※要点・図面・エスキースの裏面には念のため、氏名のみお書き添えください。